



平成 30 年 11 月 2 日

各 位

会 社 名 デリカフーズホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 大崎 善保
(コード番号 3392 東証第一部)
問合せ先 経理財務統括室長 中島 実哉
(TEL. 03-3858-1037)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 30 年 5 月 11 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成 31 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1 株当たり四半 期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	18,900	360	390	245	33.24
今回修正予想 (B)	19,460	235	275	147	19.99
増減額 (B-A)	560	△124	△114	△97	
増減率 (%)	3.0	△34.5	△29.4	△39.8	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半 期)	17,861	293	323	206	28.11

修正の理由

(1) 天候不順・地震・台風の影響

青果物の調達が順調であった第 1 四半期に対し、第 2 四半期では梅雨明け以降の記録的な猛暑をはじめ、西日本豪雨、北海道胆振東部地震、及び相次ぎ上陸した大型台風等の影響により、全国にわたる青果物産地が甚大な被害を受け、ほぼ全ての野菜において収穫量が減少し、野菜価格の高騰と調達難を引き起こしました。また、品質の低下による作業効率や歩留り(取れ高)の大幅な悪化など、当期間の業績に大きな影響を与えました。加えて、大阪・北海道の震災、西日本豪雨におきましては、調達・納品の両面から物流網に大きな影響を受け、受注減や大量の廃棄ロスを招く結果となりました。当社グループにおきましても、海外からの調達、取引先に対する代替野菜や規格変更の依頼等、可能な限りの対応をいたしましたが、今回相次いで発生した自然災害による当社の業績への影響を免れることはできませんでした。

この影響により、仕入原価率(仕入原価/売上高)が当初計画 62.0%に対し 62.4%と計画値を 0.4 ポイント上回りました。

(2) 人手不足の影響

当社グループの売上増加が順調に続く中、継続的な人手不足の影響から、労働環境の改善や働き方改革及び作業の機械化に着手しております。そのため採用や育成にかかわる費用等が増加したことに加えて、作業効率向上のための設備投資により、減価償却費が増加いたしました。

(3) 物流費上昇の影響

物流業界の深刻な人手不足や原油価格の高騰により、物流費が増加いたしました。

(4) 投資有価証券評価損の計上

第 1 四半期連結累計期間において、特別損失として投資有価証券評価損 29 百万円計上いたしま

した。

これらの結果、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益が前回発表の予想数値を下回る見通しであります。

なお、通期連結業績予想および期末配当予想（1株当たり16円）につきましては、平成30年5月11日の公表値から変更はありません。今後業績の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想と異なる結果となる可能性があります。

以 上